

2009年度

科目名	カウンセリング実習		
担当教員	田沢 晶子		
配当	人社4	コード	42580
開期	通年	講時	木曜日2限
		単位数	2
授業テーマ	実践的な学習活動を通して、カウンセリングの実際を学び、カウンセリング技能の向上を目指します。		
目的と概要	不登校や引きこもり状態などの心理的問題を抱えた生徒に対して、相談、対話、遊びを通して心理的な支援を行ないます。事前指導としてカウンセリングの理論と実際、記録の書き方や守秘義務などの必要事項を確認します。児童と接する際は毎回記録をとり、スーパーバイザーの管理のもとで、学生が児童に適切な援助を行えるよう指導します。実習終了後にはこの記録をまとめて報告書を作成します。これらを通してカウンセリングの実際を学び、カウンセリング技能の向上を目指します		
成績評価法	事前・事後指導時の出席及び受講態度、実習先での児童へのかかわり方、記録のまとめ方、スーパーバイジョン時の姿勢などから総合的に評価します。		
テキスト	適時資料を配布します。		
参考書			
履修に当たっての注意・助言	<b>【受講の条件】</b> ・1回生配当の「心理学A」「心理学B」、2回生配当の「カウンセリング論」、「カウンセリング論Ⅱ」、3回生配当の「カウンセリング演習」を履修済みであること。もしくはこれらの科目を同時に履修していること。 ・人数を確認するため、必ず第1回目の授業に必ず出席してください。この授業で「カウンセリング実習希望理由書」の提出を求めます。理由書を提出した者に限り登録を許可します。		
講義計画			
1. 事前指導 カウンセリング・プロセスの復習 2. 事前指導 記録の書き方(秘密の保持、倫理的問題を含む) 3. 事前指導 実習の心がまえ(児童との接し方、児童の親との接し方など) 4. 事前指導 スーパーバイジョンとは  実習 <b>【対象】</b> ・・・不登校、引きこもり状態などの心理的問題を認め、家庭と学校の両者から援助の希望があった生徒 <b>【実習先】</b> ・学校または適応指導教室など <b>【期間】</b> ・・・約3ヶ月から6ヶ月間程度、週1回、1回3?5時間程度とする <b>【実習内容】</b> 対象児童に対して相談、対話、遊びを通して心理的援助を行う。学生は実習先での記録を毎回とり、大学へ持ち帰る。学生が子どもと会った後は、毎回担当教員がスーパーバイジョンを行い、児童に対し適切な援助が行われているかを監督する 5. 実習報告と検討会 6. 実習報告と検討会 7. 実習報告と検討会 8. 実習報告と検討会 9. 実習報告と検討会 10. 実習報告と検討会 11. 実習報告と検討会 12. 実習報告と検討会 13. 実習報告と検討会 14. 前期・事後指導 記録をもとに全体をまとめ、気付いた点、反省点、改善点などを考える 15. 前期・事後指導 報告書の作成・発表  16. 実習報告と検討会 17. 実習報告と検討会 18. 実習報告の検討会 19. 実習報告と検討会 20. 実習報告と検討会 21. 実習報告と検討会 22. 実習報告と検討会 23. 実習報告と検討会 24. 実習報告と検討会 25. 実習報告と検討会 26. 実習報告と検討会 27. 実習報告と検討会 28. 実習報告と検討会 29. 後期・事後指導 記録をもとに全体をまとめ、気付いた点、反省点、改善点などを考える 30. 後期・事後指導 報告書の作成・発表			